

漆工の吉祥文

— 祈り・願いの世界 —



2019
7 / 13 (土) ▶ 9 / 8 (日)
*会期中無休

イベント情報

- 第1回漆文化セミナー
「工芸品にみる日本の伝統文様」
7月20日(土) 13:30~
講師：並木誠士氏(京都工芸繊維大学教授)
- 第2回漆文化セミナー
「古神宝—春日大社を中心に—」
9月7日(土) 13:30~
講師：高津綾乃(当館学芸員)
*いずれも予約不要・受講無料

主催・会場 石川県輪島漆芸美術館
開館時間 9:00~17:00
(入館は16:30まで)

入館料 一般 620円(510円)
高大学生 310円(210円)
小中学生 150円(100円)
*()内は20名以上の団体料金

同時開催 「輪島塗の歴史と文化」

作品写真 瑞雲群鶴漆絵蒔絵飾箱(部分)/山崎覚太郎
(上から) 1935~1944年(昭和10年代)
草花沈金富士山形煙草盆
瑞鳥手篋(部分)/都筑幸哉/20C前半(昭和時代)
いずれも石川県輪島漆芸美術館蔵



瑞鳥



瑞鳥吉祥文蒔絵五段重・重台／熊野宗石
1949年（昭和24）頃

漆工の吉祥文 ―祈り・願いの世界―

2019

7/13 (土) ▶ 9/8 (日)

*会期中無休

鶴



沈金双鶴文硯箱／前 大峰
1977年（昭和52）

菊



菊水蒔絵行厨（個人蔵）
17C～19C（江戸時代）

桃



五福奉寿装身具箱／天野文堂
1935～1944年（昭和10年代）

改元を迎えた新時代の幕開けを寿ぐ展覧会として「漆工の吉祥文―祈り・願いの世界―」を開催します。吉祥文様は古くから人々に親しまれ、結婚式などハレの場はもちろん、衣服や食器類にいたるまで様々な場面で用いられ、生活に彩りを与えてきました。それぞれの文様には長寿や子孫繁栄など人々の幸福への願いが込められています。本展覧会では鶴や亀、松竹梅、富士山など日本人に馴染み深い吉祥文様が描かれた漆芸品を、実用品・美術品問わず文様ごとに集め、意味や由来を紹介することで、文様に込められた思いや願いを紐解いていきます。華やかで奥深い吉祥文様の世界をどうぞ会場でお楽しみください。

松竹梅



松竹梅蒔絵瓶子・輪島春慶塗錫入物のうち
松竹梅蒔絵瓶子
19C後半～20C前半（明治～大正）

イベント情報

第1回漆文化セミナー
「工芸品にみる日本の伝統文様」
7月20日（土）13：30～
講師：並木誠士氏
（京都工芸繊維大学教授）

第2回漆文化セミナー
「古神宝―春日大社を中心に―」
9月7日（土）13：30～
講師：高津綾乃
（当館学芸員）

*所蔵表記のないものは石川県輪島漆芸美術館蔵



WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART 石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十苅11番地
TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789
URL <https://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>



■交通案内 飛行機：羽田空港→（約60分）→のと里山空港→（車）約20分→漆芸美術館
車：金沢市内→（のと里山海道利用）約100分→漆芸美術館
（自家用車・大型バス駐車場有（無料））
バス：金沢駅→（北鉄奥能登バス輪島特急）約120分→道の駅・輪島ふらっと訪夢
乗換え→（のらんげバス 海コース）約10分→「漆芸美術館」下車
徒歩：道の駅・輪島ふらっと訪夢「輪島駅前」→（約15分）→漆芸美術館

次回展覧会
「沖縄の工芸―人間国宝と現代作家たち―」
9月13日（金）～11月11日（月）

本券1枚につき8名様まで
団体料金で入館できます。
割引券